

ルイス・クラレット & 岡田 将



Luis Claret

♪ Program

ベートーヴェン:「魔笛」の主題による12の変奏曲

バーバー: チェロとピアノのためのソナタ

ヤナーチェク:「おとぎ話」

ブラームス: チェロとピアノのためのソナタ第2番 へ長調

The Duo



Masaru Okada

2014 4 / 12 (土)

開演 PM2:00 開場 1:30

4000円 (全自由席)

● チケット取扱い

東京文化会館チケットサービス ☎ 03-5685-0650

e+ (イープラス) (インターネット予約) <http://eplus.jp/>

● お問合せ/チケット取扱い

スピカ ☎ 03-3978-6548 ✉ spica@sepia.ocn.ne.jp

JTアートホールアフィニス

港区虎ノ門2-2-1 JTビル 2F ☎ 03-5572-4945



◆ 東京メトロ銀座線 「虎ノ門駅」 徒歩4分

◆ 東京メトロ南北線 「溜池山王駅」 徒歩5分

◆ 東京メトロ日比谷、千代田、丸の内線 「霞ヶ関駅」より徒歩7分

主催 スピカ

ルイス・クラレット Lluís Claret (チェロ)



名付け親、パブロ・カザルスの影響でチェロを志し、「音楽の技術だけではない、心に響く音楽を伝えたい」と語るバルセロナを拠点に世界的に活躍するチェリスト。リセウの音楽院を優等で卒業した後、アメリカ、イタリア、フランスで研鑽を積む。その間に、エンリック・カザルス（パブロ・カザルスの弟）に徹底した音楽教育を受けるほか、モーリス・ジャンドロン、ジョルジュ・シェベック、バーナード・グリーンハウスらからも多大な影響を受ける。

ボローニャ国際コンクール(75年)、カザルス国際コンクール(76年)、ロストロポーヴィチ国際コンクール(77年)で次々優勝を果たす。

以来、ブーレーズ、ミュンヒンガー、ロストロポーヴィッチ、ノイマン等の指揮者、ワシントン・ナショナル管、モスクワフィル、フランス国立管、チェコ・フィルなど多くのメジャーオーケストラとの共演、リサイタルなど、世界を舞台に活躍する。

レパートリーはバッハから現代作曲家まで幅広く、現代作曲家（デュティユー、ルトスワフスキ、ブーレーズ、クセナキス……）から献呈された作品の初演も数多い。現在、演奏家としての活動はもとより、フランス・トゥールーズ音楽院、或いは各地のマスタークラスでの後進の指導、主要な国際コンクールの審査員、音楽祭の音楽監督など幅広い活動を行っている。

ソロ、室内楽、協奏曲のCDが数多くリリースされている。

岡田 将 Masaru Okada (ピアノ)



桐朋女子高等学校(共学)在学中の1992年、日本音楽コンクール第1位となる。

翌年、同校を首席で卒業し、オーストリア国立ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年よりベルリン国立芸術大学にて研鑽を積む。

97年アルトゥール・シュナーベルコンクール(ドイツ)第1位、99年リスト国際ピアノコンクール(オランダ)で日本人初の優勝など、コンクールで輝かしい成果を挙げる。

以来、欧米と日本各地でオーケストラとの共演、リサイタルの開催、パイロイト音楽祭など音楽祭への参加など、ドイツを拠点にソリストとして活躍する。

2007年に帰国し、神戸女学院大学の講師として後進の指導にもあたる。

現在、ソロに留まらず、室内楽の分野でも充実した活動を展開し、実力派ピアニストとして期待を担っている。とりわけ、リスト生誕200年の2011年に東京と神戸で開催したオール・リスト3回シリーズ、2012年から2013年にかけてのバッハパルティータ全曲演奏は、大きな反響を呼んだ。

2004年、デビューCD「岡田将プレイズ・リスト」をリリース。新聞紙上で推薦盤に取り上げられるなど高い評価を得る。

2002年出光賞、03年日本シヨパン協会賞、11年坂井時忠音楽賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。

ルイス・クラレット NewリリースCD

「Pau Casals =カザルス作品集」



〔収録曲〕

パブロ・カザルス作曲

チェロとピアノの為の5つの作品

チェロオーケストラのためのサルダーナ



スピカはおとめ座の一等星、ラテン語で“麦の穂”を意味します。

‘気軽に足を運び、心から楽しめるコンサート’を目指し、スピカは1990年に手作りコンサート活動をスタートしました。

踏まれても踏まれても伸びていく麦、
頭を垂れずまっすぐに天に向かって伸びていく麦の穂のようでありたいと願っています。